



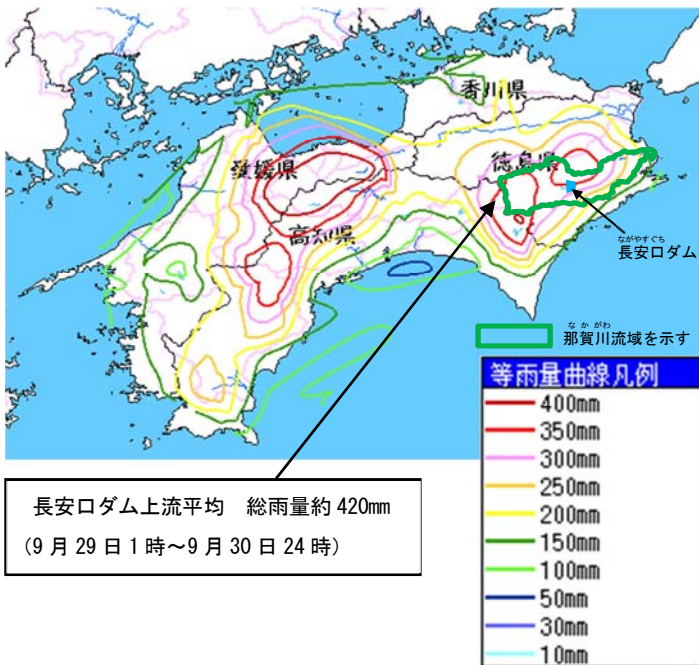
# 気象の概要

9月21日21時にマリアナ諸島で発生した台風24号は、25日にはフィリピンの東の海上から北上しながら猛烈な状態に発達しました。また、29日には南西諸島に最接近し、30日20時頃には非常に強い勢力を維持した状態で和歌山県田辺市に上陸しました。

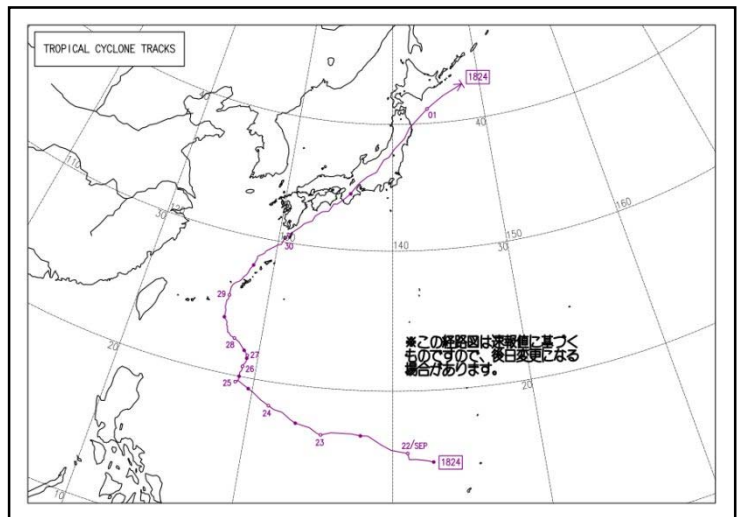
台風を取り巻く雨雲により、徳島県南部では猛烈な大雨となり、長安口上流域では、降り始め（9月29日1時）から9月30日24時までに累計雨量約420mmを観測し、古庄上流域では、降り始め（9月29日1時）から9月30日24時までに累計雨量約380mmを観測しました。

なお、古庄地点では、30日22時10分に最高水位5.79mを観測し、氾濫危険水位（上流5.80m）にあと1cmまで迫りました。

## ■等雨量線図〔総雨量〕



## ■台風経路図(徳島地方気象台 HP より)



▲ 那賀川橋（那賀川河口から7km付近）  
平成30年9月30日22時00分頃  
水位5.77m（古庄地点）

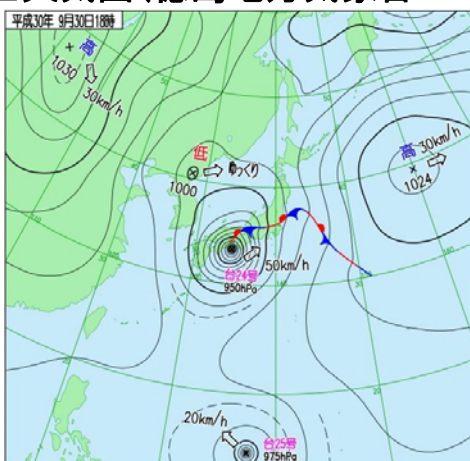


▲ 那賀川橋（那賀川河口から7km付近）  
平常時（古庄地点）

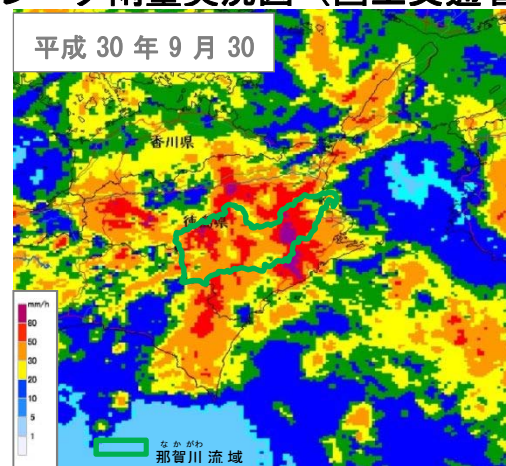
## ■出水経過一覧（9月30日～10月1日）

9月 30日	06時30分	ホットライン <small>なかがわ</small> 那賀町長へ（放流予測通知）
	07時20分	大雨警報（阿南市、那賀町）発表（气象台）
	08時30分	那賀川河川事務所 注意体制
	09時00分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第1回）に出席
	10時12分	洪水警報（阿南市、那賀町）発表（气象台）
	11時30分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第2回）に出席
	14時00分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第3回）に出席
	16時00分	リエゾン <small>なかがわ</small> 那賀町 避難状況報告
	16時11分	ホットライン <small>なかがわ</small> 那賀町長へ（放流量2,000m <sup>3</sup> /s 到達）
	16時30分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第4回）に出席
	16時53分	ホットライン <small>なかがわ</small> 那賀町長へ（放流量2,500m <sup>3</sup> /s 到達）
	17時00分	リエゾン <small>なかがわ</small> 那賀町 避難状況報告
	18時10分	水防団待機水位（3.50m）到達【古庄】
	18時20分	水防警報（那賀川・待機）発令
	18時30分	水防警報（那賀川・準備）発令
	18時30分	長安口ダム最大流入量約3,600m <sup>3</sup> /sのうち800m <sup>3</sup> /sをダムに貯留し、ダム流出量約2,800m <sup>3</sup> /sとすることで下流の流量を低減。
	19時00分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第5回）に出席
	19時40分	氾濫注意水位5.00m超過【古庄】
	19時50分	那賀川河川事務所 警戒体制（河川）
	20時00分	リエゾン <small>なかがわ</small> 那賀町 避難状況報告
	20時20分	避難判断水位5.40m超過【古庄】
	20時20分	那賀川氾濫注意情報 洪水注意報（発表）古庄上流
	20時55分	那賀川氾濫警戒情報 洪水警報（発表）古庄上流
	20時58分	水防警報（那賀川・出動）発令
	21時00分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第6回）に出席
	22時00分	リエゾン <small>あなんし</small> 阿南市災害対策警戒本部会議（第7回）に出席
	22時10分	最高水位（5.79m）到達【古庄】
10月 1日	00時00分	那賀川河川事務所 注意体制
	00時15分	那賀川氾濫注意情報 洪水注意報（警報解除）古庄上流
	01時00分	那賀川氾濫注意情報解除 洪水注意報解除 古庄上流
	01時00分	那賀川河川事務所 注意体制解除
	01時10分	水防警報（那賀川・解除）発令

### ■天気図（徳島地方气象台 HP より）



### ■レーダ雨量実況図（国土交通省）



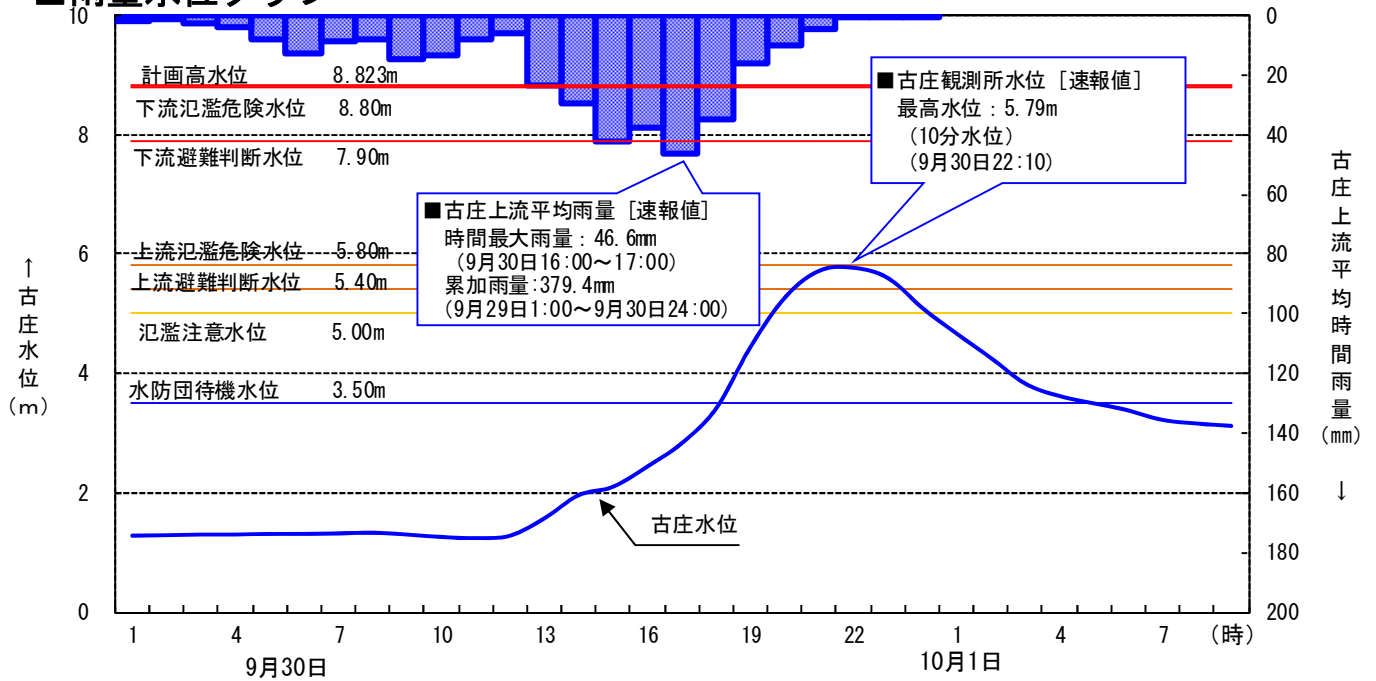


# なかがわ 那賀川の出水状況

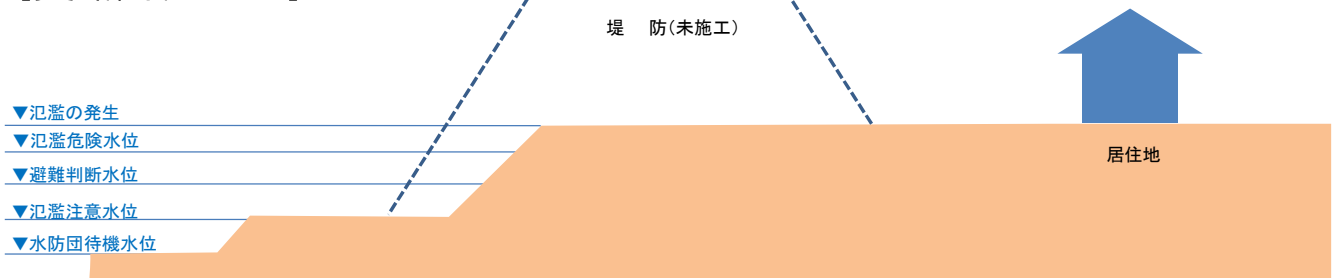
台風24号による<sup>ながやすぐち</sup>長安口上流平均雨量は、9月29日1時から9月30日24時に総雨量約420mmを観測しました。

なかがわ 那賀川流域では、<sup>ふるしよう</sup>古庄地点において9月30日18時10分に水防団待機水位、30日19時40分に氾濫注意水位、30日20時20分に避難判断水位（上流）を超過し、22時10分には最高水位（5.79m）を記録しました。

## ■雨量水位グラフ



### 【参考:各種水位のイメージ】



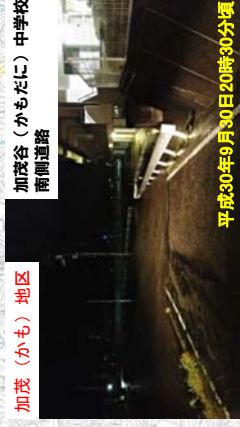
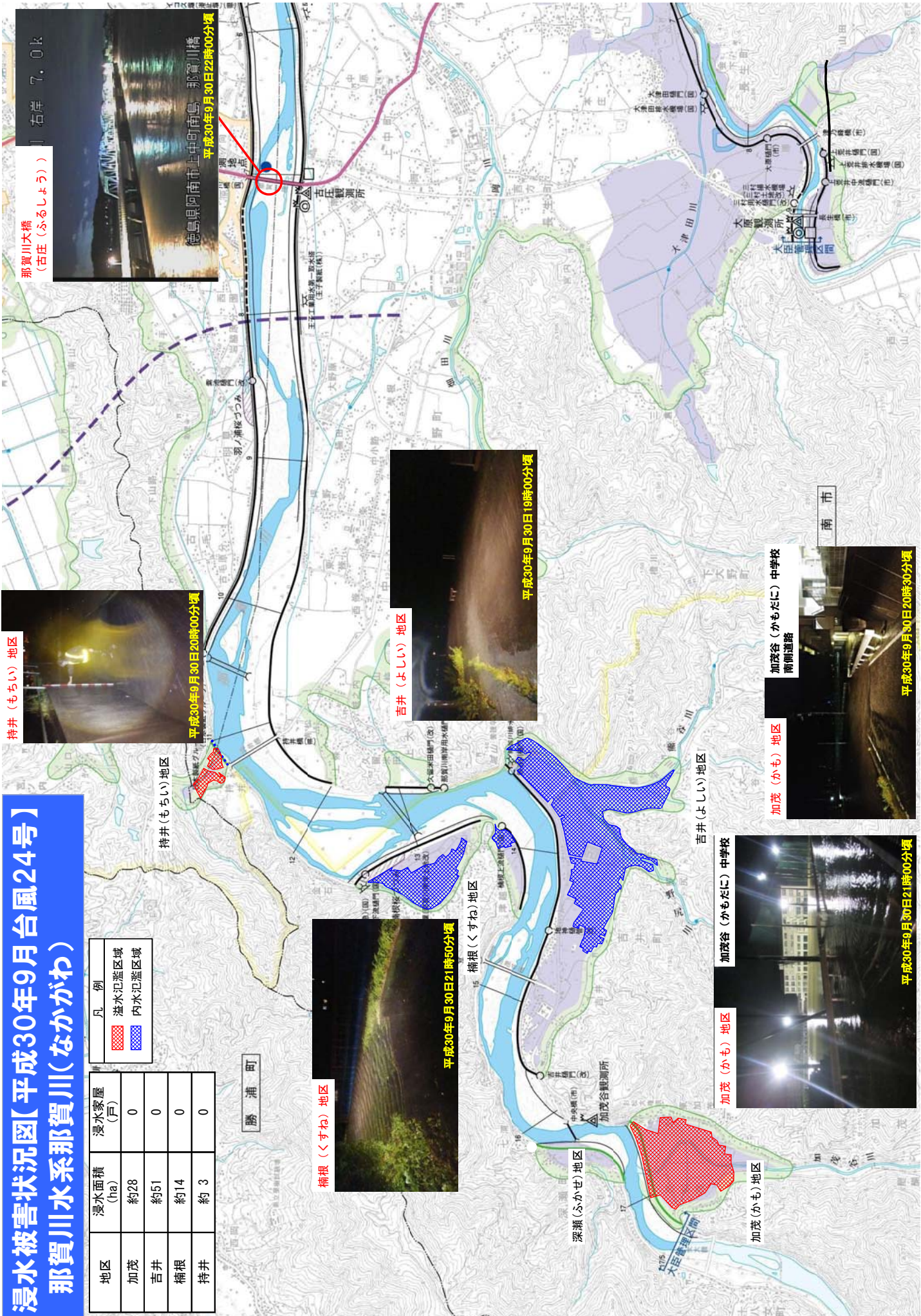
氾濫危険水位	氾濫の恐れが生じる水位
避難判断水位	避難判断の参考となる水位
氾濫注意水位	氾濫に関する情報に注意する水位 水防団が出動して活動を行う目安となる水位
水防団待機水位	水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位



# 浸水被害状況【平成30年9月台風24号】 那賀川水系那賀川(なかがわ)

地区	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)
加茂	約28	0
吉井	約51	0
楠根	約14	0
持井	約3	0

- 凡 例
- 浸水氾濫区域 (Red checkered pattern)
  - 内水氾濫区域 (Blue checkered pattern)

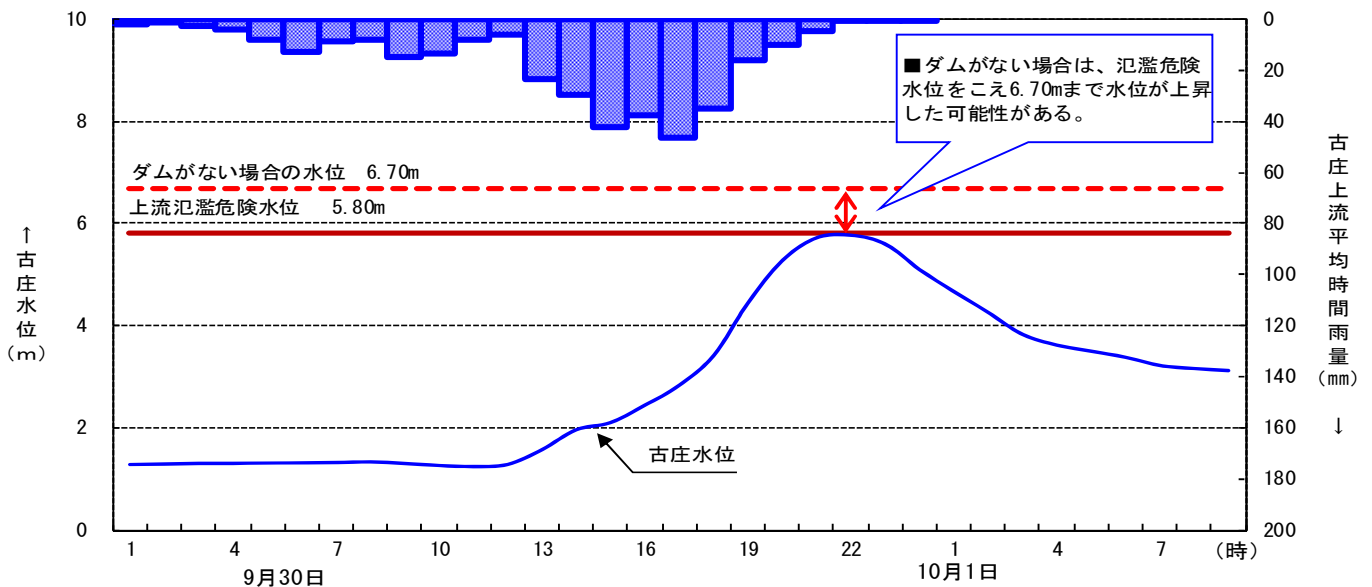
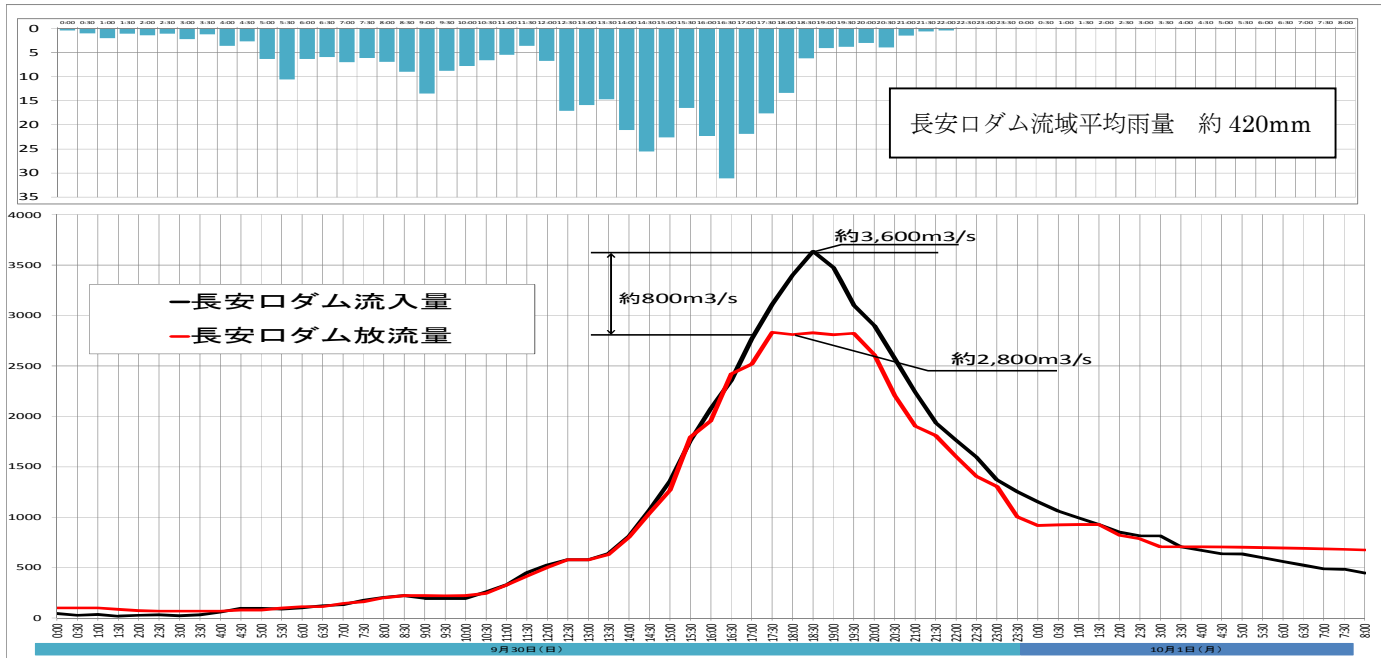


この地図は、測量法第29条に基づき複製承認を得て、国土地理院発行の5万分の1地形図を複製したものの(平25四復、第29号)を一部転載したものである。



# 長安口ダムの洪水貯留により下流の浸水被害を大幅に軽減！

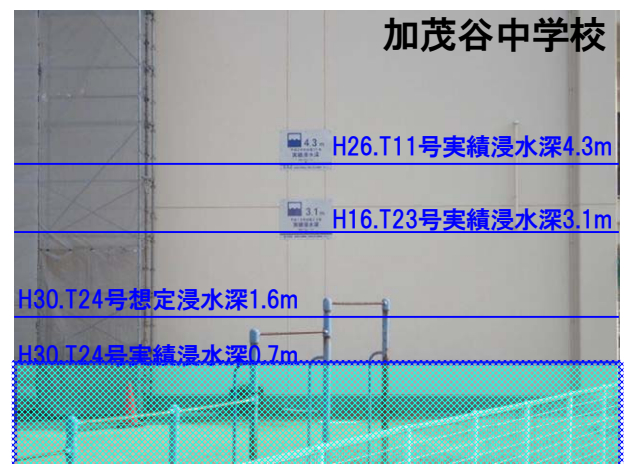
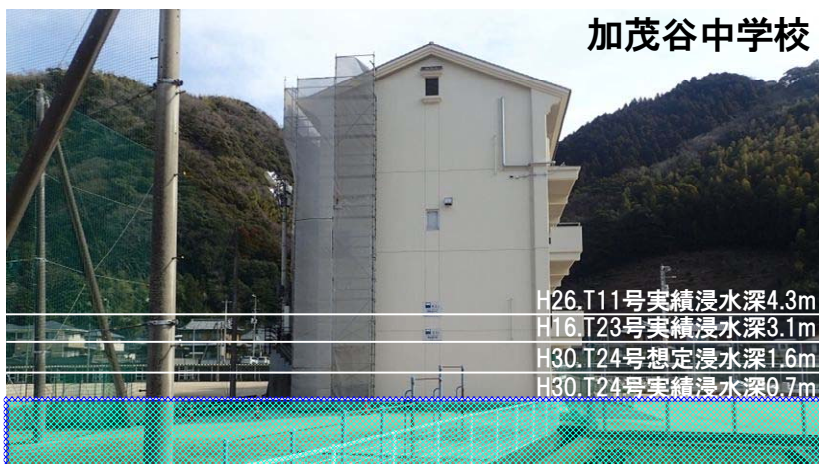
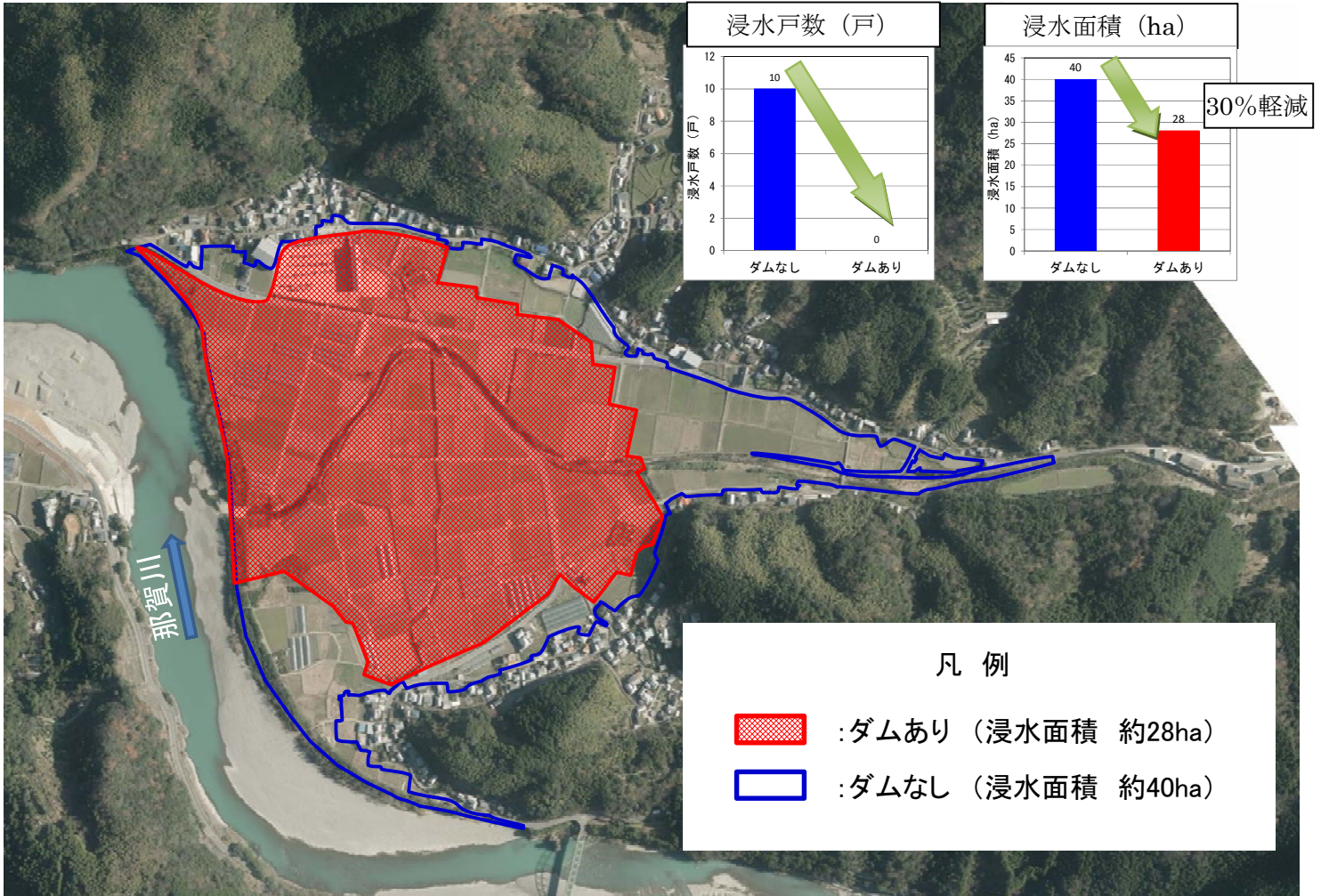
- 長安口ダム上流域では、台風 24 号の影響により、9月 29 日 1時から雨が降り始め、9月 30 日 24 時にかけて、長安口ダム上流域平均雨量は、累計約 420mm を観測しました。
- 長安口ダムでは、最大流入量約 3,600m<sup>3</sup>/s のうち、約 2 割に相当する約 800m<sup>3</sup>/s をダムに貯留し、ダムからの流下量を約 2,800m<sup>3</sup>/s とすることで、下流の流量を低減させました。
- 今回の洪水により、徳島県南部の資産集積地である阿南市の古庄地点では、氾濫危険水位 5.80m まで僅か 1cm まで迫る危険な状況となりましたが、溢水による家屋浸水被害は回避することができました。
- 長安口ダムの貯留がなければ、古庄地点では水位が、約 90cm 上昇することになり、氾濫危険水位を大幅に超過する約 6.7m に達していたと想定されます。過去、古庄地点の水位が 6.0m 以上になると家屋浸水被害が発生するとともに、漏水が頻発するなど、深刻な被害が発生しています。



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 長安口ダムの洪水貯留により下流の浸水被害を大幅に軽減！

- 加茂地区の効果として、ダムがなかった場合の被害として、床上浸水3戸、床下浸水7戸、浸水面積も約12ha、溢水量も約27万 $m^3$ （25mプール約680杯分）多くなることが考えられます。
- また、長安口ダムでは、事前にダムに貯留している水を放流することにより、通常の洪水調節容量よりも約1.3倍の容量を大雨の前に確保するなど、現在のダムの施設能力を最大限発揮することができました。

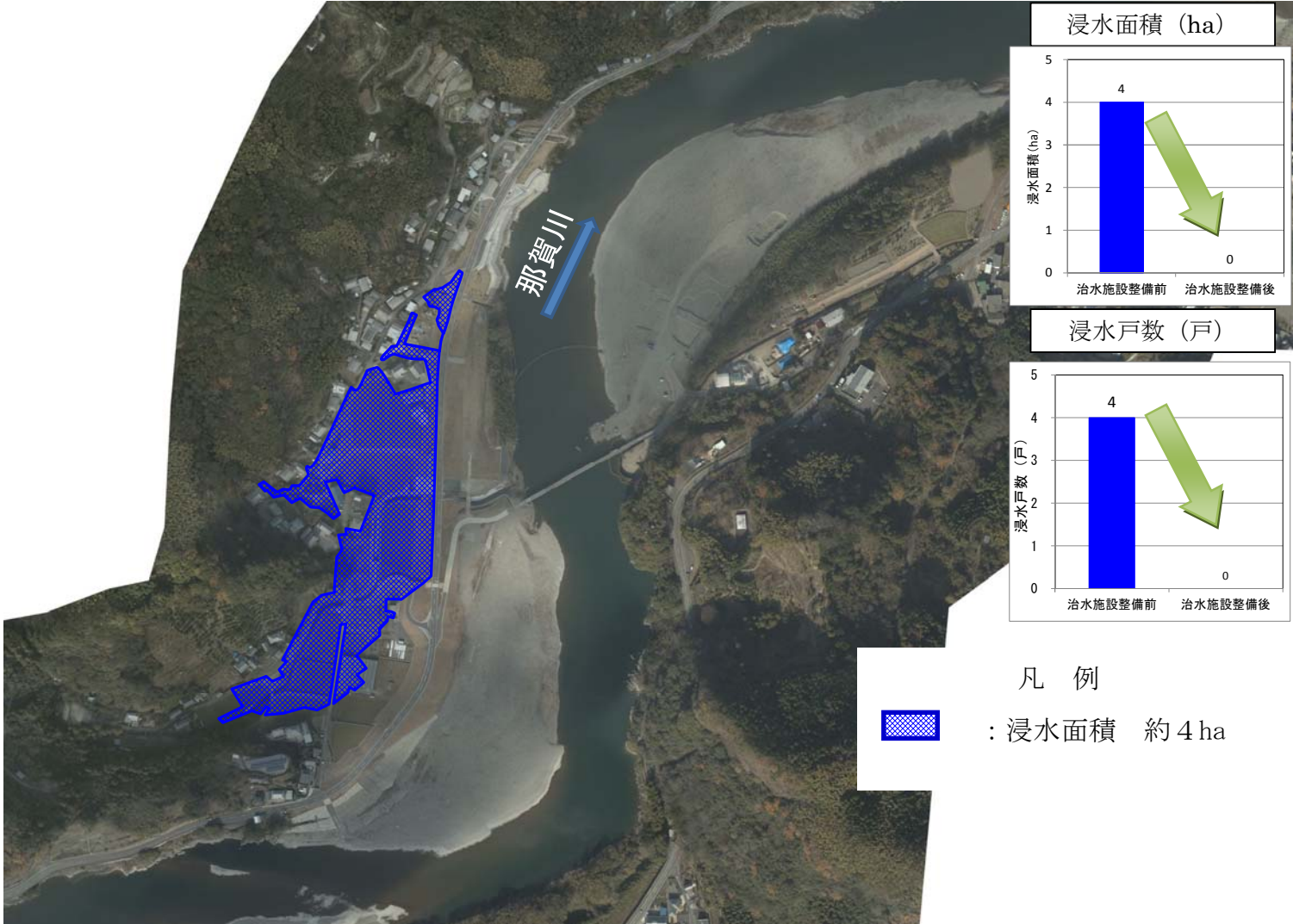


※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



# 深瀬地区における堤防など治水施設整備効果 ～浸水被害を完全に防止～

- 堤防整備前の深瀬地区では、過去から洪水の度に浸水被害が発生していましたが、平成30年9月台風24号洪水においては、平成28年に完成した堤防により浸水被害を防止することができました。
- もし、堤防などの治水施設がなければ、床上浸水2戸、床下2戸、浸水面積約4haの浸水被害が発生したと考えられます。



堤防整備前



堤防整備後

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。